

質問1「子どもの権利」普及啓発に関する講座をもっと知ってもらうためには？		意見:21件
1	SNSを使って紹介する。	小学5年
2	人目に付くところで講座の開催を呼びかける。	小学5年
3	他のところでも講座を開催すればよい。	小学5年
4	SNSを利用したり、学校にプリントを配る。	小学6年
5	プリントクッキーを作って、学校で配ってもらう。	小学6年
6	大人も子どもも気軽に講座に参加できるよう、YouTubeなどの動画配信やオンラインなどでも講座を開催すればよい。	小学6年
7	チラシを配る。	小学6年
8	市は、YouTubeに講座の紹介動画を投稿したり、チラシを配ればよい。 自分は、友達などに講座への参加を呼びかけることができる。	中学1年
9	子どもが講座に参加したくなるように、講座の内容を紹介する。	中学1年
10	市は、広報あおもりやCM、チラシなどで講座の開催をお知らせするとよいと思う。 自分たちは、ポスターを作ったり、SNSを利用して講座をPR出来ると思う。	中学1年
11	学校の先生や子ども達だけでなく、一般の大人にも講座を知ってもらうため、チラシを配ればよいと思う。	中学1年
12	小学校などでチラシを配る。	中学1年
13	市の小中高生にプリントを配る。	中学2年
14	学校の先生だけでなく、様々な人に講座を知ってもらうため、市のSNS等を活用すればよいと思う。	中学2年
15	チラシを配るだけでなく、学校で講座を開くとよい。	中学2年
16	チラシを配る。楽しいイベントと講座を一緒に開催する。	中学3年
17	学校にチラシを配ったり、広報あおもりで講座の内容をお知らせして、すべての子どもや大人の「知る権利」を大切にす。	中学3年
18	子どもの権利について分かりやすいリーフレットを作る。	高校1年
19	学校でチラシを配って、子ども会議の委員が内容を説明する。	高校1年
20	子ども会議で昨年度実施した「トークイベント」のように、子どもが自ら「子どもの権利」を考えることができるイベントを行う。	高校3年
21	各学校で講座を開催する。	高校3年

質問2 児童館を使う子どもを増やすためには？		意見:22件
1	ねぶたを作成するなどといったワークショップを開催する。	小学5年
2	児童館の楽しさを広める。	小学5年
3	「子どもの遊び場まっぷ」を渡したり、イベントを開催すればよい。	小学5年
4	子ども向けのイベントを開催する。	小学5年
5	プリントの配付や、SNSを活用してPRするほか、児童館へ行きやすくするために専用バスを用意すればよい。	小学6年
6	スタンプラリーを開催する。	小学6年
7	地域によっては児童館がないところがある。公園はあるが、近くに住んでいる大人が怒ったり、命令したりするので行きたくない。児童館がない地区にも子どもは沢山いるので、子どもが安心して遊べる場所を作ってほしい。	小学6年
8	児童館のPR動画を撮る。	小学6年
9	市は、児童館に入った時のメリットを書いたポスターなどを作って、学校の職員室前や教室のドアの空いているスペースなどに貼ればよい。 自分は、学校で、係や委員会からのお知らせの時間に児童館のPRをできると思う。	中学1年
10	他の児童館と交流するイベントを開催したり、遊べる物を増やしたりするとよい。	中学1年
11	市は、広報あおもりやCM、チラシなどでお知らせしたり、学校にパンフレットを配付するとよいと思う。 自分たちは、ポスターやパンフレットを作成したり、SNSを利用してPR出来ると思う。	中学1年
12	児童館があることを知らない子が多いと思うので、「子どもの遊び場まっぷ」を学校に貼ればよいと思う。	中学1年
13	宣伝する。	中学1年
14	児童館で定期的にイベントを開催する。	中学2年
15	感染症対策をしていることをアピールする。子ども会議等で親子向けのイベントを主催するとよいと思う。	中学2年
16	もっと祭りを増やす。 最近、留守番ができる子も増えてきているので、無理やり児童館の利用者を増やす必要はないと思う。	中学2年
17	来館するたびにポイントがもらえて、たまると景品がもらえるようにすればよい。	中学3年
18	「子どもの遊び場まっぷ」を図書館や市民センターに設置する。	中学3年
19	児童館でかかるお金を無料にする。	高校1年
20	児童館の場所が周囲に認知されていないため、「子どもの遊び場まっぷ」のようなものをもう一度作り、配布する。	高校1年
21	児童館の存在は知っているが、勉強したい高学年と遊びたい低学年の間でトラブルになるため、児童館に行かないという意見を聞いたことがある。両者にとって居心地よくするのは難しいが、敵対心のようなものを無くせる仕組みを作ったり、ちょっとしたイベントがあればよいと思う。	高校3年
22	各月のイベントを増やす。	高校3年

質問3 青森市子どもの権利相談センターへの相談者数を増やすためには？		意見:21件
1	センターの紹介を強化する。	小学5年
2	ポスターを貼ったり、チラシを配る。	小学5年
3	インターネットを使って情報を発信すればよいと思う。	小学5年
4	センターの人が学校に来ればよいと思う。	小学6年
5	オリジナルうちわを作成する。テレビに出演してアピールする。	小学6年
6	携帯カードやPRチラシなどを、人が多く利用するコンビニやスーパーなどのお店に置いてもらう。ポスターなども、人が多く利用するお店などに貼ったほうが、いろいろな人に見てもらえると思う。	小学6年
7	カードやチラシを配付する。	小学6年
8	YouTubeやInstagramでPRする。	中学1年
9	Chromebookの教育相談のブックマークに入れて、気軽に相談できるようにする。	中学1年
10	センターを利用すると、どんな良いことがあるかを知ってもらえるようなPRポスターを作る。SNSを利用して、センターを紹介する。	中学1年
11	子ども達はセンターのことをもう知っていると思う。	中学1年
12	声かけをしたり、CMを作る。	中学1年
13	アウガ前などで呼びかける。	中学2年
14	相談したくても、センターまで行きたくないという人もいるかもしれないので、オンラインやビデオ通話を活用するとよいと思う。	中学2年
15	センターでは相談を聞くだけでなく、相談に対してアドバイスもしているということを伝えるとよい。対面だけでなく、チャットを通してでも相談できるようにし、スタンプもあると話しやすいと思う。	中学2年
16	目を引くチラシを作る。	中学3年
17	相談するハードルを下げるため、学校の先生がセンターについて教えるとよい。また、相談している様子が分かる動画を作成し、学校で見せたりするとよい。センターに相談に行きたくても、親が行かせてくれないという場合もあると思うので、現在配られている携帯カードの他にも、「子どもが相談に行きたいと言ったら、親は行かせよう」という内容のカードを作って配るとよい。	中学3年
18	センターの場所やどんな人がいるのかを分かりやすくする。	高校1年
19	学校や市民センターにチラシや携帯カードを置いてもらう。	高校1年
20	センターの連絡先を、キーホルダーなどの携帯できる形にして配付する。	高校3年
21	インターネットを利用する。	高校3年

質問4 いじめをなくすためには？		意見:22件
1	いじめゼロを目標とした学校の代表者同士で話し合う。	小学5年
2	いじめへの関心を深める。	小学5年
3	もう少し学校がいじめの調査をしたり、聞き込みをしたりすればよい。	小学5年
4	学校の先生が、生徒に対していじめについて話しをして指導する。	小学5年
5	学校同士で交流し、考えを深める。	小学6年
6	対話でお互いの状況を理解してもらう。	小学6年
7	勉強の話だけでなく、遊びのことや家のことを、みんなで集まって話し合う機会を増やせばよいと思う。あまり話をしたくない人は、LINEや手紙を活用して話したいことを伝え、それに対して返事してくれるような人がいたらよいと思う。	小学6年
8	いじめについて話し合いをする。	小学6年
9	いじめる役といじめられる役に分かれてミニ劇をする。ミニ劇を見て、見ている人はどう思ったか、どう対応すればよいかを考え、役を演じた人は、加害者と被害者の立場から意見を出したりして話し合うなど、いじめについて深く考える場を作る。	中学1年
10	生徒会の人や先生が、いじめの内容をゆっくり聞いてあげたり、いじめをしても得をしないことや、罪悪感で自分が嫌な気持ちになることを教えてあげればよい。	中学1年
11	市は、気軽に相談できる場所を作るとよいと思う。自分たちは、いじめをしない、させないことができると思う。また、学校ごとや学級ごとに、「いじめ根絶宣言」を決めるとよいと思う。	中学1年
12	学校が把握できていないいじめもあると思うので、生徒と先生の距離をもっと縮めるために、先生が積極的に生徒に話しかければよいと思う。	中学1年
13	呼びかけを行う。	中学1年
14	学校での先生との個別相談などの回数を増やす。	中学2年
15	いじめられた人だけでなく、いじめた人にも心理カウンセリングを行うとよいと思う。	中学2年
16	信頼できる友達や家族にだけでも相談したり、いじめられたことを日記に書くだけでも気が楽になることを知ってほしい。	中学2年
17	娯楽を作る。	中学3年
18	先生たちがいじめをしている人に対してもっと注意する。いじめを見かけたらすぐに先生に教え、先生はクラス全体にあったことを話して、他人事ではないという雰囲気を作る。	中学3年
19	学校で、いじめに関するアンケートを毎週やる。	高校1年
20	「いじめをなくす」のは無理だと思うので、「いじめをできるだけ減らそう」というタイトルで、みんなで話し合うような授業を行う。	高校1年
21	交通安全教室のように、いじめの被害者のリアルな声を聞くことで、みんなが当事者意識を持っていじめについて考えられるようになると思う。また、いじめによる損害賠償の例などを教えるとよい。	高校3年
22	CMコンテストなどといった動画を利用して知ってもらうとよい。	高校3年

質問5 不登校をなくすためには？		意見:22件
1	校内にフリースクールを設置する。	小学5年
2	不登校の理由はそれぞれ違うと思うので、無理に減らそうとしなくてよいと思う。	小学5年
3	不登校の子の親にカウンセラーなどを薦めればよい。	小学5年
4	まずは学校に行くことを目標にして、教室以外で勉強や自習できる教室があればよいと思う。	小学5年
5	子ども同士で話し合う場をつくる。	小学6年
6	アバターを使ってオンライン授業に出席することを認める。	小学6年
7	スクールカウンセラーや学校の先生の手助けではなく、同じ小中学生の手助けで解決できることもあるかもしれないと思うので、どうしたら不登校から復帰できるようになるかを考えるために、不登校になった原因や、不登校から復帰できた人の話を聞いてみたい。	小学6年
8	まずはじめをなくす。 不登校の理由についてアンケートをとる。	小学6年
9	日頃から軽いことでも人に話すようにして、嫌なことがあった時に話しやすい人を作っておく。	中学1年
10	イベントや楽しい時間を増やす。	中学1年
11	気軽に相談できる場所を知ってもらえるよう、ポスターやお便り、SNSを使って、「子どもの権利相談センター」をPRする。	中学1年
12	不登校の子が学校に復帰できるようにするためには、学校をその子にとって最高の環境にしなければならぬと思う。	中学1年
13	自分は、不登校の子の相談に乗ってあげることができると思う。	中学1年
14	不登校の子の友だちが、その子の家に行ってお喋りをするとうい。	中学2年
15	保健室登校等のしやすい空間づくりに取り組み、私たちに話しかけられるのが嫌ではないのなら、不登校の子に積極的に話しかけたいと思う。	中学2年
16	話しをして仲良くなるだけでも、不登校の子の楽しみが増え、登校回数が増えると思う。	中学2年
17	不登校の子が、自分を好きになって自信がつくような活動をする。	中学3年
18	親や学校の先生は、子どもの意見をしっかりと聞いて、学校に行きたくなければ無理に行かせなくていいと思う。学校の学習室に居場所を作って、安心して学校に通えるようにできるとよいと思う。自分達は、不登校の子と対等に接して、話をしやすい雰囲気を作ることができると思う。	中学3年
19	フリースクールを作る。 また、学校に行きやすくなるような空間を作る。	高校1年
20	不登校の子の親向けに、フリースクールのパンフレットを作ったり、子どもたち用に悩み相談ができる場所を書いたチラシを渡す。	高校1年
21	勉強のサポートをする。	高校3年
22	不登校も一つの意思表示だから、無理に減らさなくていいと思う。	高校3年